



山ブドウ採取「剥き」



ヒロロ採取「乾燥」



マタタビ材料づくり



寒ざらしの様子



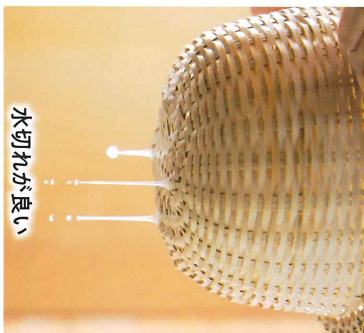
山ブドウ籠「立ち上げ編み」



モロダ採取「洗い」



ヒロロ手提げ「立ち上げ編み」



水切れが良い



山ブドウ

柔軟性に富み、丈夫な性質から山仕事で使用される道具を持ち運ぶ際に入れ物として使われてきました。使うほどに艶が増し、自分ですて育てる感覚を味わうことができ、自ずから折れや穴ならは修理することと表現されることもあります。

主な品目…手提げ、財布



ヒロロ

奥会津編み組細工の中でも最も色彩が豊かで優しい風合いが持ち味です。一目一目緻密な手作業により出来上がります。色合いはすべて素材そのものの色を使って彩られています。ヒロロを縄にして縦材として用い、横に通す副材としてモロダやアカソ等があります。

主な品目…手提げ、ショルダ



マタタビ

水切れが良く、しなやかな手触りの筧は野菜を洗ったり、米を研いだりする台所用品として使われてきました。この筧で米を洗うと濁りの汁の吸収を避け、あたりが柔らかいので米の割れや傷を防ぐことができ、お米本来のおいしさを引き出すことができ、編み終え終わると「寒ざらし」をすることで強度を増します。

主な品目…米研ぎ筧、そば筧、菓子器

縄文より伝わる

雪国の手仕事

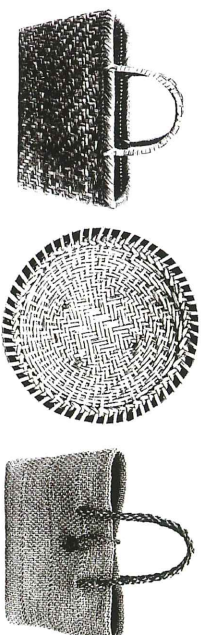
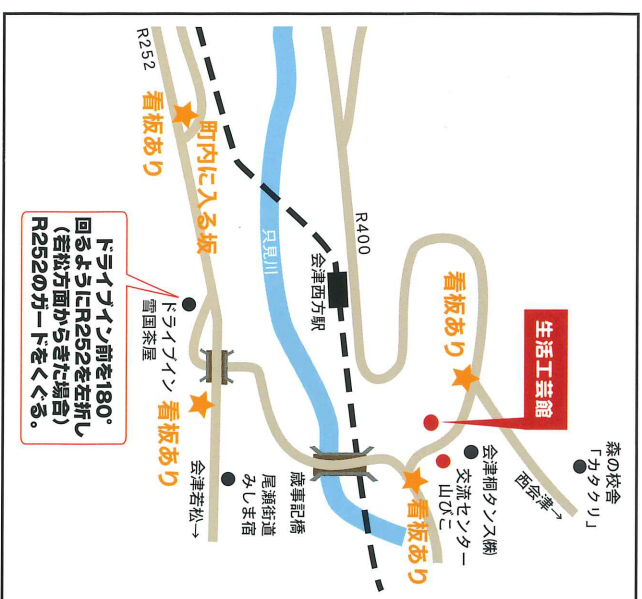
奥会津編み組細工は、奥会津地方の山間部で採取される山ブドウ、ヒロロ、ヤマタビなどの植物を素材とする工芸品で山間部における積雪期の手仕事として伝承されてきました。

福島県大沼郡三島町を主な産地とし、手提げ籠、抱え鞆、肩掛け籠、菓子器、炊事用具などが作られています。自然素材を用いた堅牢で素朴な手編みの良さが特徴です。

地域に住んでいる高齢者を中心に一つ一つ丁寧に制作しています。編み組細工の高度な技術は、すでに縄文時代には完成されていました。山ブドウ籠の編み方は、荒屋敷遺跡から押しつぶされるような形で出土した籠の編み方を踏襲しています。

「籠類」三島町教育委員会

アクセス



奥会津三島編組品振興協議会
(三島町生活工芸館内)

〒969-7402 福島県大沼郡三島町名入字諏訪ノ上395
TEL 0241-48-5502

奥会津編み組細工



三島町生活工芸館

常設販売

通販

Instagram



生活に根ざした伝統のものづくり



奥会津編み組細工